

大学名	東京大学		
University	The University of Tokyo		
学部/研究科	農学生命科学研究科		
Faculty/Department	Graduate School of Agricultural and Life Sciences		
研究指導者	藤原 徹	職名	教授
Research Advisor	Toru Fujiwara	Position	Professor
帰国留学生	スマナ ルーンティティカンチャナ		
Former International Student	Sumana Leangthitikanchana		
派遣期間	2016年11月6日 ~2016年11月13日 (8日間)		
Period of Stay	11/6/2016~11/13/2016		

< 帰国留学生プロフィール/Profile >

国籍	タイ・チェンマイ等
Nationality	Thai, Chiang Mai
所属機関	ピアオ大学・講師
Affiliation	University of Phayao, Lecturer
現在の職名	講師
Position	Lecturer
研究分野	植物栄養学
Major Field	Plant nutrition



ピアオ大学での講演後の関係教員との記念撮影
Photo with the members of Phayao University
after my seminar

< 研究指導者からの報告/Research Advisor Report >

① 研究指導概要 / Outline of Research Guidance

平成28年11月6日から13日までタイのチェンマイ大学、ピアオ大学、カセサート大学を訪問した。帰国留学生への研究指導はチェンマイ大学、ピアオ大学への訪問で行った。この中で、帰国留学生に対して、栄養欠乏診断や栄養欠乏に対する作物の応答研究についての指導を行った。また3つの大学でセミナーを行い、各大学の教員や学生との交流を行った。チェンマイ大学では帰国留学生と共に、新しく作られた大学の圃場を教員や学生と共に訪問し、日本への留学希望学生に対して、奨学金等の制度の説明などを行った。ピアオ大学では帰国留学生の研究室での大学院生を交えた議論と指導や、農学部の教員との研究協力についての議論、大学間の交流について農学部長や農学副部長との意見交換を行った。カセサート大学においてもセミナーと教員や大学院生との交流を行った。

② 研究指導の成果 / Results of Research Guidance

帰国留学生が進めている作物におけるホウ素欠乏応答の研究について、今後の具体的な進め方についての意見交換を行った。シロイヌナズナを用いた研究で得られた知見を、北タイ地域での農業に活用すべく、実際の圃場での作物の欠乏応答や、大学で栽培した植物における遺伝子発現の調査の要点について議論した。また、シロイヌナズナの研究等を通じて帰国留学生の今後の研究経験をより豊富にするために、日本への短期留学の可能性について議論し、留学についてのピアオ大学の関係教員の了承を得ることができたので、今後留学のための資金援助の申請を行って行くこととなった。また、今回の訪問を機に、これまで帰国留学生があまり交流を持っていなかったタイの大学の教員等との交流も得られ、帰国留学生には有意義であったと考えている。

③ 訪問大学等での学術交流 / Scholarly Exchanges Done at Universities Visited, etc.

チェンマイ大学、ピアオ大学、カセサート大学のいずれにおいても、セミナーの開催と共に、関連する教員や学部長等との意見交換を行った。また、教員や大学院生から研究内容を聞き、当方から意見を述べたり、今後の共同研究の可能性を議論した。チェンマイ大学では帰国留学生と共に、山間地の研究施設を訪問し、野菜栽培と栄養欠乏の関係についての議論を行った。ピアオ大学では、植物科学やバイオテクノロジーだけでなく、獣医学や食品化学等も含めた幅広い分野の農学部の教員との研究交流を行うと共に、農学部長や農学副部長との大学間交流のあり方についての意見交換を行った。カセサート大学では、園芸学部の数名の教員との今後の共同研究の可能性について議論すると共に、大学院生から研究説明や留学希望を受け、日本の状況や研究内容の可能性について説明し議論した。

<帰国留学生からの報告/Former International Student Report>

①研究指導の成果 / Results of Research Guidance

The future plan on the study of GLIP1 gene was outlined. The examination of the expression levels of NIP5;1 gene among the different cultivars of Thailand is also discussed.

②今後の計画 / Further Research Plan

For the several experiments required for the analysis of GLIP1 will be conducted in the University of Tokyo and we will seek for the opportunity for the support on the travel/staying expenses.

③本事業に対する意見・感想等 / Your general impression and opinion about the Follow-up Research Guidance

This is my good opportunity to have discussion with former supervisor. We can exchange knowledge not only each other but also with the members of Phayao University. This is very helpful improve our understandings.



チェンマイ大学の山地農業研究所の関係者と記念写真
Agricultural station at high elevation in ChaingMai



カセサート大学でセミナーの紹介をするSontichai教授と大学院生
Prof Sontichai at Kasetstert University introducing my seminar.